

「サンタルチア」 ナポリ民謡

1.	2.	3.
月は高く 海に照り	ほのかなる 潮(しお)の香(か)に	愛(め)ぐしナポリ 夢の国
風も絶え 波もなし	流るるは 笛の音(ね)か	憂いなく 悩みなし
月は高く 海に照り	ほのかなる 潮の香に	愛ぐしナポリ 夢の国
風も絶え 波もなし	流るるは 笛の音か	憂いなく 悩みなし
来よや友よ 船は待てり	晴れし空に 月は冴(さ)えぬ	水夫(かこ)の歌の 遠くひびく
サンタ ルチア	サンタ ルチア	サンタ ルチア
サンタ ルチア	サンタ ルチア	サンタ ルチア
来よや友よ 船は待てり	晴れし空に 月は冴えぬ	水夫(かこ)の歌の 遠くひびく
サンタ ルチア	サンタ ルチア	サンタ ルチア
サンタ ルチア	サンタ ルチア	サンタ ルチア

「上を向いて歩こう」

上を向いて歩こう 涙がこぼれないように
思い出す 春の日 一人ぼっちの夜
上を向いて歩こう にじんだ星をかぞえて
思い出す 夏の日 一人ぼっちの夜
幸せは 雲の上に 幸せは 空の上に
上を向いて歩こう 涙がこぼれないように
泣きながら 歩く 一人ぼっちの夜
(口笛…)
思い出す 秋の日 一人ぼっちの夜
悲しみは星のかげに 悲しみは月のかげに
上を向いて歩こう 涙がこぼれないように
泣きながら 歩く 一人ぼっちの夜
一人ぼっちの夜

「翼を下さい」

いま私の願いごとが
かなうならば翼がほしい
この背中に鳥のように
白い翼つけてください
この大空に翼をひろげ
飛んで行きたいよ
悲しみのない自由な空へ
翼はためかせ行きたい

「今日の日はさようなら」

1.	2.	3.
いつまでも絶えることなく	空を飛ぶ鳥のように	信じあうよろこびを
友だちでいよう	自由に生きる	大切にしよう
明日の日を夢見て	今日の日はさようなら	今日の日はさようなら
希望の道を	またあう日まで	またあう日まで
		またあう日まで